

教科
理科

種目
理科

意見書

発行者
東京書籍

	着眼点	意見
1	(1)基礎的・基本的な知識及び技能を確実に習得させる、学年内及び学年間の系統性・発展性	<ul style="list-style-type: none"> ○「！課題に対する結論を表現しよう」で、各節の結論を生徒自らがまとめ、章末で「各節の課題に対する結論の例」が一覧で示されている。単元の学習内容が系統的に理解できるようによく配慮されている ○「これまでに学んだこと」を適宜配置し、引き出し線を使って本文との関わりを明示してある。既習の内容と関連を意識しながら系統的に学ぶことができるようによく工夫されている。 ○「基礎操作」でグラフの作成方法などの基礎的操作が位置付けており、確実に習得できるように配慮されている。
	(2)思考力、判断力、表現力等を育む、言語活動や問題解決的な学習、体験的な学習	<ul style="list-style-type: none"> ○問題発見から課題づくりまでの流れが大切にされるとともに、領域ごとに、大切にすべき見方・考え方を「科学のミカタ」として提示することで根拠に基づいて考えることができる工夫がされている。 ○課題に対する結論を、キーワードを参考にして自分の言葉でまとめる形にし、さらに表現や議論の力をつけるための記載がされており、思考力や表現力の育成を図る工夫がよくされている。 ○焦点を絞って、探究の過程を振り返る場が位置付けられている。
2	(1)学習意欲を喚起したり、学習の意義を社会や生活との関わりの中で実感したりすることができる題材や素材、資料等	<ul style="list-style-type: none"> ○各節の導入に「レッツ スタート！」を位置付けることで、学習内容に関する気付きを引き出したり、学習意欲を喚起したりすることができるようによく工夫されている。 ○インパクトのある美しい写真とともにマンガや見やすい文字で学びを促し、学習意欲がより一層高まるようによく工夫してある。 ○「私たちとつながる科学」、「つながる科学」、「世界につながる科学」、「未来への科学」という読み応えのあるコラムによって学習意欲を喚起するとともに、日常生活との関わりを実感したり他教科との関連を理解したりすることができるようによく工夫されている。
	(2)家庭で、課題の解決に向けて、自分で考え、自分で学習を進めることができる内容や構成	<ul style="list-style-type: none"> ○実験や観察の過程や、ノートへのまとめ方も視点をおさえてまとめられているため、自分でも学習が進められるよう構成が工夫されている。 ○単元の終末に、「確かめと応用」があり、学習内容を生かして問題に取り組むことができる。また、活用編もあり、発展的な問題にも取り組むことができるよう、よく工夫された構成になっている。 ○各単元内に学習に関連した「特設ページ」や「どこでも科学」で家庭でも行うことができる実験が紹介され、よく工夫された内容になっている。
3	コンピュータや情報通信ネットワーク等の活用 観察、実験における安全指導	<ul style="list-style-type: none"> ○情報収集やつまずきやすい内容等の ICT が有効な箇所に「Dマーク」で活用を促している。(1年 17/2年 24/3年 25)。A4スリム版でタブレット端末でのデジタル教科書の提示に適している。 ○観察・実験ごとに注意マークがあり、注意点が分かりやすくなっている。「理科室のきまり」が巻末にありよく配慮されている。
4	(1)教科書の重量やページ数	<ul style="list-style-type: none"> ○重量:535～660g(1年 535/2年 620/3年 660) ○ページ数:272～338p(1年 272/2年 322 311/3年 338) ○教科書の重量やページ数は生徒に負担のないようによく配慮されている。
	(2)文字の大きさ、字間、書体、行間、図版等	<ul style="list-style-type: none"> ○A4スリム版で観察・実験の流れが見やすく、見開き構成で全体を見通して探究の流れや生徒の資質・能力が大変能率よく収められている。 ○1年生の文字サイズは小6と同じ大きさで他学年より大きい。また、ユニバーサルデザイン書体を使用し、グラフの線の付記などがあるなどよく配慮されている。
	(3)上記以外の使用上の便宜	<ul style="list-style-type: none"> ○巻末資料は、自由研究、理科室のきまり、実験器具、基礎操作、薬品の性質、測定の方法、郊外の施設、科学史、学習シートなどがある。また、授業ですぐに使えるペーパークラフトや星座早見などの付録がある。

教 科
理科

種 目
理科

意見書

発行者
大日本図書

	着眼点	意 見
1	(1) 基礎的・基本的な知識及び技能を確実に習得させる、学年内及び学年間の系統性・発展性	<p>○結論は、「結果からわかること」と、その後の解説の文章に含めて記述してある。単元末の「学習のまとめ」で、チェックしながら単元の内容を系統的に振り返ることができるように配慮されている。</p> <p>○課題追究の根拠となる事項が「思い出そう」として適宜位置付けてあり、学年内及び学年間の系統性を意識しながら学習できるようによく配慮されている。</p> <p>○グラフの書き方などの「基本操作」が位置付けてあり、正しく観察・実験が行うことができるように配慮されている。</p>
	(2) 思考力、判断力、表現力等を育む、言語活動や問題解決的な学習、体験的な学習	<p>○理科の見方につながる学習課題が、生徒の思考に沿った設定であり、課題の把握、探究、解決という一連の流れになる工夫がよくされている。</p> <p>○探究の過程を通じた学習活動の中で領域ごとに大切にしている考え方を働かせることができるようによく工夫されている。</p> <p>○探究の過程を振り返る活動を意識できるように、「振り返ろう」のマークを位置付けられている。</p>
2	(1) 学習意欲を喚起したり、学習の意義を社会や生活との関わりの中で実感したりすることができる題材や素材、資料等	<p>○「くらしの中の理科」「Science Press」などのコラムが豊富に位置付けており、日常生活との関わりを実感したり、他教科との関連を理解したりすることができるようによく工夫されている。</p> <p>○巻頭ページで、理科に関連した職業を紹介したり、単元や章の導入ページでは、見開きに写真や図を位置付けたりすることで、学習意欲を高めるようによく工夫されている。</p>
	(2) 家庭で、課題の解決に向けて、自分で考え、自分で学習を進めることができる内容や構成	<p>○実習、実験の過程がまとめられており、必ず「結果の例」を掲載することで考えをまとめる際に参考にできるよう、構成が工夫されている。</p> <p>○単元の終末に「単元末問題」や「読解力問題」があり、学習内容を生かして問題に取り組むことができるよう、工夫された構成になっている。</p> <p>○各単元内に学習に関連し、身近なものを活用して行う「やってみよう」があり、家庭でも取り組めるように工夫された内容になっている。</p>
3	コンピュータや情報通信ネットワーク等の活用 観察、実験における安全指導	<p>○ウェブコンテンツに対応するページにマークがあり、情報活用能力に対応した活動や資料が掲載されている。(1年29/2年21/3年17)</p> <p>○理科室のきまりや基本操作のページがあり注意事項をまとめている。</p>
4	(1) 教科書の重量やページ数	<p>○重量：530～660g(1年530/2年565/3年660)</p> <p>○ページ数：294～374p(1年294/2年318/3年374)</p> <p>○教科書の重量やページ数は生徒に負担のないものにならないようによく配慮されている。</p>
	(2) 文字の大きさ、字間、書体、行間、図版等	<p>○教科書サイズがB5版。分かりやすくコンパクトにまとめている。</p> <p>○1年は、本文や囲み資料の文字を大きくしてある。ユニバーサルデザインフォントを使用している。グラフの色や線種の工夫があり、見やすい配慮がされている。</p>
	(3) 上記以外の使用上の便宜	<p>○巻末資料は、探究の進め方、ノートやレポートの書き方、自由研究、郊外施設、基本操作、理科の学習と算数・数学、理科室のきまり、周期表、科学史などが記載されている。</p>

教科
理科

種目
理科

意見書

発行者
学校図書

	着眼点	意見
1	(1)基礎的・基本的な知識及び技能を確実に習得させる、学年内及び学年間の系統性・発展性	<ul style="list-style-type: none"> ○「この時間の課題」「この時間のまとめ」が端的に示してあり、基本的・基礎的な内容がわかりやすく示されている。 ○「基礎操作」として、実験道具の使い方や結果の処理の仕方が、図や写真を多く使って視覚的に理解しやすいようによく配慮されている。 ○「Can Do List」が単元の最初に示され、観察・実験のポイントなど、つけない力を意識しながら学習できるように工夫されている。
	(2)思考力、判断力、表現力等を育む、言語活動や問題解決的な学習、体験的な学習	<ul style="list-style-type: none"> ○学習内容ごとに大切にしたい見方・考え方を課題提示と共に具体を明確に記載し、科学的な根拠に基づいて考えさせる工夫がされている。 ○見方・考え方を働かせて、育む資質・能力を「できるようになりたい目標」という形で章の始めに提示し、章の終わりに振り返る工夫がされている。 ○「振り返りのポイント」として、探究の過程を振り返ることができるように位置付けられている。
2	(1)学習意欲を喚起したり、学習の意義を社会や生活との関わりの中で実感したりすることができる題材や素材、資料等	<ul style="list-style-type: none"> ○単元や章の導入ページでは、見開きに写真や図を位置付けるとともに、「問い」が設定されており、学習前後の「問い」に対する答えを比較することで、学習の意義や日常生活との関わりを実感できるように工夫されている。 ○「サイエンスカフェ」などのコラムによって日常生活との関わりが実感できるように工夫されている。
	(2)家庭で、課題の解決に向けて、自分で考え、自分で学習を進めることができる内容や構成	<ul style="list-style-type: none"> ○実験について、「気づき」から「ふり返り」までが流れで掲載されており、一人で学習が進めていけるように構成が工夫されている。 ○各単元にある「学びを日常にいかしたら」において、学習内容と日常生活の場面を結び付けた問題で理解を深められるように工夫された内容になっている。
3	コンピュータや情報通信ネットワーク等の活用 観察、実験における安全指導	<ul style="list-style-type: none"> ○QRコードから入るインターネット教材が準備されている。(1年35/2年36/3年41)基礎からまとめまで幅広く活用できるようによく工夫されている。 ○各単元ごとに、安全指導や操作の基礎に関わる指導が位置付けられている。
4	(1)教科書の重量やページ数	<ul style="list-style-type: none"> ○重量:530～545g(1年530/2年555/3年545) ○ページ数:274～290p(1年274/2年290/3年282) ○教科書の重量やページは生徒に負担のないようによく配慮されている。
	(2)文字の大きさ、字間、書体、行間、図版等	<ul style="list-style-type: none"> ○教科書のサイズがAB版。 ○文字のサイズは全学年同じ大きさと統一されている。ユニバーサル書体を使用。観察・実験の流れや操作だけでなく考察とまとめが区別されており分かりやすく表現されている。
	(3)上記以外の使用上の便宜	<ul style="list-style-type: none"> ○巻末資料には、実験器具、基本操作、学び方、科学事象、周期表、レポートの書き方、郊外の施設などが記載されている。 ○巻末に紙製のホワイトボードを準備し、生徒の吹き出しでの説明などをもとに、探究の過程での話し合いを促す工夫がされている。

教 科
理科

種 目
理科

意見書

発行者
教育出版

	着眼点	意 見
1	(1) 基礎的・基本的な知識及び技能を確実に習得させる、学年内及び学年間の系統性・発展性	<ul style="list-style-type: none"> ○課題に対して「結論」が明示しており、基礎的・基本的な内容が身につくように配慮されている。 ○「思い出そう」で、課題追究の基礎となる既習内容が適宜書かれており、他学年との系統性を図りながら学習をすすめることができるよう、よく配慮されている。 ○観察・実験では結果を表にまとめた例が多く示され、表にまとめることが苦手な生徒にとってよく身に付くように工夫されている。
	(2) 思考力、判断力、表現力等を育む、言語活動や問題解決的な学習、体験的な学習	<ul style="list-style-type: none"> ○章ごとに学習の前後で同じ問いかけを設定し、探究の過程を振り返りながら、学んだ見方・考え方を活用して表現する力を育成しようとする工夫がされている。 ○探究が効果的と考えられる授業では、実験計画を立てる場面にヒントを記載し、既習事項をもとに考えることができる工夫がされている。 ○探究の過程を振り返るポイントが、キャラクターの吹き出しの中に示されている。
2	(1) 学習意欲を喚起したり、学習の意義を社会や生活との関わりの中で実感したりすることができる題材や素材、資料等	<ul style="list-style-type: none"> ○「ハローサイエンス」というコラムが豊富に位置付いており、日常生活との関わり強く実感したり、他教科との関連を理解したりすることができるようによく工夫されている。 ○単元や章の導入ページでは、日常生活や社会・環境との関連や自然の美しさや雄大さなどを実感することができる迫力ある写真や資料を用いることで学習意欲が喚起されるよう工夫されている。
	(2) 家庭で、課題の解決に向けて、自分で考え、自分で学習を進めることができる内容や構成	<ul style="list-style-type: none"> ○実験の目的から考察までが同じように掲載されており、自分でも進められるよう、構成が工夫されている。 ○各単元の終末に「要点と重要用語の整理」と「基本問題」があり、学習内容が定着しているかを確実に確認できるよう、構成がよく工夫されている。 ○「チャレンジ」では、学習内容に関連した簡易的な実験を行えるよう内容がよく工夫されている。
3	コンピュータや情報通信ネットワーク等の活用 観察、実験における安全指導	<ul style="list-style-type: none"> ○まなびリンクマーク等で ICT 活用を促している(1年 26/2年 17/3年 28) ○基礎技能や安全指導について、各単元に応じて有効に位置付けられている。
4	(1) 教科書の重量やページ数	<ul style="list-style-type: none"> ○重量:685~790g(1年 685/2年 710/3年 790) ○ページ数:320~376p(1年 320/2年 338/3年 376) ○教科書の重量やページ数は生徒に負担が少ないよう配慮されている。
	(2) 文字の大きさ、字間、書体、行間、図版等	<ul style="list-style-type: none"> ○教科書のサイズがAB変形版。ゆとりある紙面で、学習を上から下へ流れるように文章やイラストを配置しており、見やすい工夫がされている。 ○1年生の文字サイズが他の学年よりも大きく、見やすい配慮がされている。 ○ユニバーサルフォントを活用して見やすい工夫がされている。
	(3) 上記以外の使用上の便宜	<ul style="list-style-type: none"> ○巻末の資料には、自由研究、郊外施設、基本操作、物質や薬品、理科と算数・数学、科学史、周期表、療育の説明などが記載されている。 ○巻末には原子モデルや生物のカード、星座早見などの付録があり、すぐ活用できる工夫がされている。

教科
理科

種目
理科

意見書

発行者
啓林館

	着眼点	意見
1	(1)基礎的・基本的な知識及び技能を確実に習得させる、学年内及び学年間の系統性・発展性	<ul style="list-style-type: none"> ○結論を、文章内に含めて示している。また、単元の最後に「学習のまとめ」として、章ごとの結論が学習内容と合わせてまとめてあり、単元の系統性と定着性がよく図られている。 ○「つながる学び」として課題追究の基礎となる既習内容を位置付け、学年間の系統性を図って学習を進めることができるようによく工夫されている。 ○「実験のスキル」で、グラフの書き方などが視覚的に分かりやすく丁寧に説明されており、技能の習得がしやすいようによく考えられている。
	(2)思考力、判断力、表現力等を育む、言語活動や問題解決的な学習、体験的な学習	<ul style="list-style-type: none"> ○各単元に1つ生徒が主体的に探究する探Q実験を仕組み、見方・考え方をヒントとして記載し、仮説や計画を生徒が考えやすい工夫がされている。 ○理科の見方につながる課題設定が、生徒の思考に沿ったものであり、課題のまとめとして「探究のふり返し」がすべての実験・観察に位置付き、探究の過程を振り返ることができるように工夫がされている。 ○「学ぶ前にトライ」、「学んだあとにトライ」で単元の前後で思考することで、探究の過程を振り返る工夫がされている。
2	(1)学習意欲を喚起したり、学習の意義を社会や生活との関わりの中で実感したりすることができる題材や素材、資料等	<ul style="list-style-type: none"> ○科学コラムが豊富に位置付いているとともに、同学年での学習内容の関連、他教科との関連が見やすく記載されており、日常生活とのかかわりを実感したり、他教科との関連を理解したりできるようによく工夫されている。 ○単元の導入ページでは迫力ある写真や図とともに「学ぶ前にトライ」「学んだ後にトライ」という日常生活にかかわる「問い」が設定されており、学習意欲が喚起されるとともに自己の変容が実感できるように工夫されている。
	(2)家庭で、課題の解決に向けて、自分で考え、自分で学習を進めることができる内容や構成	<ul style="list-style-type: none"> ○実験や観察の過程が写真やイラストで分かりやすく掲載されており、結果を見て自分で学習が進められるよう構成がよく工夫されている。 ○単元終末に「学習のまとめ」と「力だめし」が設定され、「思考力UP」で、より身近なことと関連付けた設問があり、理解が深まるよう構成が工夫されている。 ○各単元内にある「ためしてみよう」や「探Qクラブ」で、自ら課題を見つけて学習に取り組むことができるようによく工夫された内容になっている。
3	コンピュータや情報通信ネットワーク等の活用 観察、実験における安全指導	<ul style="list-style-type: none"> ○QRコードからデジタル教材にリンクし家庭学習の参考にできる。コンピュータの活用に適した箇所には[ICTマーク]で利用を促している。(1年 94/2年 105/3年 107) ○小学校の学習を活用して、生物の分類等、プログラミング的指向の育成を意図した内容がある。 ○資料[実験を安全に進めるために][注意マーク][安全マーク]が表示され、分かりやすくなっている。
4	(1)教科書の重量やページ数	<ul style="list-style-type: none"> ○重量:620～710g(1年 620/2年 650/3年 710) ○ページ数:316～364p(1年 316/2年 332/3年 364) ○教科書の重量やページ数は負担のないようによく配慮されている。
	(2)文字の大きさ、字間、書体、行間、図版等	<ul style="list-style-type: none"> ○教科書のサイズが、左右に広いAB版で、丁寧な記述とダイナミックな図や写真があり、わかりやすく工夫されている。 ○ユニバーサルデザインフォントを使用。1年の文字サイズは、2・3年よりやや大きめになり、見やすい配慮がされている。
	(3)上記以外の使用上の便宜	<ul style="list-style-type: none"> ○巻末には、探Qシートがあり、教科書内の4つの実験に対応して主体的で対話的な学びに活用できる。巻末資料には、自由研究、地域の環境、理科と算数・数学、物質や薬品、基本操作、周期表、サイエンス資料、科学史などが記載されている。 ○年間指導計画に沿った単元配列ではなく、生命(生物)・地球(地学)・物質(化学)・エネルギー(物理)の4領域に分けた配列で、理科の専門性を高める構成になっている。